

競技注意事項

- この大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定を適用する。
- この大会は、第71回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会の予選を兼ねる。
 - 各種目とも、男子4位・女子3位までが県大会の出場資格を獲得する。但し、競歩・混成競技は男女各1位のみで、男子棒高跳は3m00以上、女子棒高跳は2m00以上、男子ハンマー投は40m00以上、女子ハンマー投は30m00以上の者が県大会への出場資格を得る。リレー種目は自由参加とする。ただし、女子三段跳は安全配慮により、3位に入った者より10m00以上の者とする。
 - 地区予選の結果、出場資格を得た者を除いて、県下で記録上位の者（男子8名、女子7名、混成競技7名）を+αとして、出場資格を与える。+αは5月15日（火）の常任委員会で決定し、後日連絡する。
- 招集について
 - 選手招集所は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
トラック種目：招集開始時間 → 競技開始20分前、招集完了時間 → 競技開始15分前
フィールド種目：招集開始時間 → 競技開始30分前、招集完了時間 → 競技開始25分前
 - 招集の手順
 - 出場選手は、招集場に掲示した出場種目のプログラムを確認し、記載事項に誤りがあれば競技者係に連絡する。
 - 招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクのチェックを受ける。点呼を受けない者は棄権とみなされ、出場できない。
 - 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず最初の種目の招集の際に競技者係にその事を申し出て許可を得ること。許可を得た場合に限り、代理人による点呼を認める。
 - 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。なお、男子1500m、5000m、3000m、5000m競歩、女子1500m、3000m、5000m競歩は、招集時、競技者係から配られる。
 - 混成競技において、第1日目第一種目、第2日目第一種目と最終種目は招集所で点呼を受ける。ただし他の種目は現地集合とし、トラック競技は競技開始15分前、フィールド競技は競技開始25分前とする。
- トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。
- リレーのオーダーは、用紙を招集場で競技者係から受取り、招集終了1時間前までに必要事項を正しく記入し、競技者係に提出する。
- 棒高跳用ポールは各自が持参のものを使用する。投てき用具は競技場のものを使用する。ただし、ハンマーとやりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとするが、その際の用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下の全天候型ピンとする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。
- 練習については、補助競技場が付設されていないため、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。ただし、投てき練習は一切禁止する。
- 3000mSCの選手選考は、競技場施設の関係で3000m競走により行う。
- 競技運営の都合上、5000m競歩では、男子35分、女子40分で競技を打ち切る。
- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳	男子	練習(1m35)	1. 40-45-50-55-60-65-70-75-80-83 (以降3cmきざみ)
	女子	練習(1m05)	1. 10-15-20-25-30-35-40-45-50-53 (以降3cmきざみ)
棒高跳	男子	練習(2m30)	2. 40-60-80-3.00-10 (以降10cmきざみ)

混成競技の走高跳は開始の高さより3cmきざみとする。
第1位が同成績および男子4位・女子3位が同成績の場合、順位決定のための追加試技をおこなう。競技終了時の高さからスタートし、順位決定の為のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとする。
走高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。
- 走高跳・棒高跳を除く種目の決勝で男子4位・女子3位で同順位の場合、県大会出場資格は抽選により決定する。
- 特別枠により県大会出場資格を有する選手が該当競技に出場した場合は、資格を放棄したものと見なす。
- 表彰については、総合の部の男女の優勝に優勝杯と各6位までに賞状。トラック、フィールドの部は男女各3位までに賞状。種目別の個人は男女各3位まで賞状をそれぞれ授与する。さらに、本大会において優れた成績を残した選手より男女各1名に最優秀賞としてトロフィーを授与する。
- 個人情報の取り扱いについて、本大会に関して寄せられた個人情報は本大会の目的以外には使用しない。尚、参加申込の提出により、個人情報のプログラムや掲示板への掲載や、本大会が認めた報道機関に公表し新聞等で公開されることを承諾したものとみなす。
- 競技終了後のグラウンド整備、及び用器具の片付けは、参加各校協力して行うこと。また、使用したスタンド周辺の清掃にも積極的に取り組むこと。